

## 動物実験によるマイクロプラスチックの生体影響

プラスチックごみの環境汚染によりマイクロプラスチックが大気中に浮遊していることが知られています。プラスチックを大量に吸引した場合の生体影響には、ナイロン製絨毯工場の労働者における間質性肺炎の罹患が挙げられると思います。人口動態統計による間質性肺炎罹患患者数は、1995 年の 7,108 人から 2019 年の 19,488 人と増加しており、近年の間質性肺炎の大半は原因が特定されない特発性間質性肺炎で、石綿肺と誤診されることも多い状況です。本セミナーでは、マイクロプラスチックの分析状況や動物実験によるプラスチックの生体影響についてご講演いただきます。

【主催】大気環境学会近畿支部人体影響部会

【後援】室内環境学会

【日時】2023 年 3 月 7 日（火）

14:00～16:50

【開催形式】対面と遠隔によるハイブリッド方式（講師の先生は対面での参加です）

【会場】大阪市立長居ユースホステル会議室 1（長居陸上競技場内）

住所 〒546-0034 大阪府大阪市東住吉区長居公園 1-1 TEL 06-6699-5631

最寄り駅 大阪メトロ御堂筋線「長居駅」1 番出口から 10 分、JR 阪和線「長居駅」東出口から 10 分

JR 阪和線「鶴ヶ丘駅」から 5 分

【参加費】無料、（対面・遠隔参加者にテキストを千円で販売します。学生など（応相談）はテキスト無料）

【プログラム】

14:00～14:05 接続確認

14:05～14:10 主催者挨拶

14:10～14:50 テーマ 1 「環境中マイクロプラスチック分析方法の現状と課題」

講師：中尾 賢志 先生（大阪市立環境科学研究センター）

15:00～15:40 テーマ 2 「ラットへの気管内注入試験によるマイクロプラスチックの肺障害性の評価」

講師：友永 泰介 先生（産業医科大学）

15:50～16:30 テーマ 3 「マイクロプラスチック曝露による呼吸器影響の解析」

講師：石原 康宏 先生（広島大学）

16:40～16:50 総合討論

■各講師発表後、質疑応答時間を設けています。

【定員】対面参加は約 20 名の予定、遠隔参加は 100 名（対面参加者が定員超過の場合は会場変更します）

【参加申込み】一般参加も可能です。事前申し込みは下記担当宛に 2 月 27 日（金）までに電子メール（件名

「人体影響部会セミナー参加申込」）で対面参加か遠隔参加かを記載してお申し込み下さい。

テキストは、対面参加では会場で販売します。遠隔参加では、事前にテキスト代を大気環境学会近畿支部のゆうちょ銀行口座に振り込まれた方にテキスト PDF をお送りします。